

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '子ども家庭総合支援拠点事業' and '子育て支援の充実と少子化対策の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the business overview and operational procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for various activity indicators and target indicators.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume (business expenses) with columns for 05年度, 06年度, 07年度, 08年度, 09年度, and 期間限定総投入量. Includes a breakdown of expenses by source.

Table showing business expense details with columns for 06年度事業費 実績 (千円) and 07年度事業費 予算 (千円). Includes a list of expense items and their amounts.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 07年度の事業内容, 08年度の事業内容, and 09年度の事業内容. Includes implementation details for the current and future years.

| | | | | | |
|--|---------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 子ども家庭総合支援拠点事業 | 事務事業No. | 10101001085 | 所属課 | 児童福祉課 |
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ H28の児童福祉法等一部改正で、子どもを取り巻く福祉の向上を図ることを目的に、令和3年に「子ども家庭総合支援拠点」を設置。その後令和4年の改正児童福祉法により「子ども家庭総合支援拠点」と母子保健の「子育て世代包括支援センター」の一体的な運営により全ての妊産婦、子育て世帯及び子どもの切れ目ない支援を行うため「こども家庭センター」の設置に努めなければならないとされた。令和7年4月よりこども家庭センター設置。 | | | | | |
| (6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 関係機関の連携についての要望。 | | | | | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|---------|---|
| 改革改善を行う | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 児童福祉の向上につながり、桜川市の政策に結びついている。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童福祉法に基づく事業であり公共関与は妥当である。 |
| | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない さらに関係機関と連携をとることにより、適切な支援ができるようになっていたと考えられる。更なる切れ目ない支援強化のためこども家庭センター設置に伴い、子ども家庭総合支援拠点は廃止となる。 |
| 有効性 | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 児童福祉法改正に基づき、令和7年4月よりこども家庭センターが設置され、業務内容は引き継がれていることから事業廃止の影響はない。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 子育て世代包括支援センター事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 児童福祉法改正に伴い、令和7年4月より子ども総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体化組織であるこども家庭センターが設置されたことから、事務事業評価を一本化する |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 家庭相談員の報酬・手当等や児童相談管理システム使用料が主な事業費となっており、削減の余地はない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である すべての児童・保護者・妊産婦等が対象であり、公正・公平である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果 | | (2) 全体総括(振り返り、反省点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----|--|----|----|--|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|---|--|----|--|--|---|----|--|--|---|
| ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ⇒ | 家庭児童相談室を核とし、相談、訪問等を実施。母子保健施策との連携、調整を図り、より効果的な支援につなげるため、定期的な合同会議を実施。また、妊婦カンファへ同席し、要支援者の早期発見、把握に努めている。 要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童について、関係機関と連携し、対応することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 | | (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和7年4月から「こども家庭センター さくらっこ」を設置。 母子保健との更なる一体的な連携をし、効果的な支援や相談体制の強化を図る。 | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> | | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | ○ | | 維持 | | | × | 低下 | | | × |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | (6) 事務事業優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 成果優先度評価結果 ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|--|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |